

令和7年度 2学期学校評価

伊予市立中山中学校 令和7年12月アンケート実施

【評定の基準】
A 目標を達成
B おおむね達成
C あまり達成できていない
※ 各評価資料の結果をもとに総合的に判断する。

【アンケートの評価基準】
◎ 8割以上が肯定 ○ 6割以上が肯定 △ 6割未満が肯定
【アンケート】
1 よくできている 2 大体できている 3 あまりできていない 4 できていない 5 わからない

項目	小項目(重点目標 ＜担当＞)	評価指標及び目標値	評定	学校による考察・改善方策	評価資料	アンケート結果(%)					1,2の割合(%)	評価	平均	1学期	昨年度 比較
						1	2	3	4	5					
教育課程と学習指導	教育課程の 編成と実施 ＜教務＞	年間指導計画を定期的にチェックし、授業時数の確保と学習指導要領の内容の完全実施に努めている。 目標値:学校教育法に示された授業時数を100%達成		＜教務＞ 5教科については、2学期で優先して組んだため、消化率は高い。3学期は、どの教科も積み残しがないよう進捗を確認しながら授業を組むようにする。	時数集計票										
	確かな学力の 定着と向上 ＜学力向上推進主任＞	授業を改善し、わかる授業、興味ももてる授業を展開している。大体理解できている。 目標値:教職員、生徒の80%以上が肯定	A	＜学力向上・各教科＞ 生徒に「わかる!」という実感をもたせることのできる授業を今後も継続していく。振り返りなども積極的にを行い、つまづき等がないかを定期的に確認していく必要がある。	教職員アンケート①	25.0	75.0	0.0	0.0	0	100	◎	100	98	7
					生徒アンケート①	52.0	48.0	0.0	0.0	0	100	◎			
											0				
		一人ひとりに応じたきめ細かな学習指導がなされている。 目標値:教職員、保護者、生徒の80%以上が肯定	A	＜学力向上・各教科＞ 少人数の良さを生かした学習指導が行えている。理解度や学習進度に応じて、課題などの内容も工夫できるとさらに個別最適な学びに繋がっていくと考える。	教職員アンケート②	37.5	62.5	0.0	0.0	0	100	◎	95	89	6
					保護者アンケート①	19.2	73.1	7.7	0.0	0	92	◎			
					生徒アンケート②	80.0	12.0	4.0	4.0	0	92	◎			
		家庭学習の習慣が身に付いている。 目標値: 1年90分以上、2年120分以上、3年150分以上	C	＜学力向上・学担・各教科＞ 家庭学習の習慣化には、必ず家庭との連携が必要になってくる。保護者の負担にならないように配慮しつつ、学力向上のための工夫が必要だと考える。家庭学習＝宿題のみになっているところを、より発展的な、また自分の興味関心を追究できる時間になるような取組を考えていく。	教職員アンケート③	0.0	30.0	70.0	0.0	0	30	△	56	48	15
					生徒アンケート③	24.0	60.0	4.0	8.0	4	84	◎			
					家庭学習時間	3~4	2~3	1~2	0.5~1	~0.5					
					3年生	0.0	28.0	16.0	0.0	0.0					
					1, 2年生	4.0	0.0	40.0	4.0	8.0					
		適切な量や内容の宿題が与えられている。 目標値:生徒の70%以上が肯定	A	＜学力向上・学担・各教科＞ 引き続き、各学年に応じた適切な量の宿題を各教科担任から出すようにする。		少なすぎる	適切	多すぎる					92	91	3
					生徒アンケート④	0.0	92.0	8.0				◎			
		発達段階に応じた基礎学力が身に付いている。 目標値:全国学力調査などで全国平均値よりも上。			学力テスト結果										
生き方を考える教育	心の教育の 推進 ＜道徳推進教師＞	道徳の時間の指導が充実し、道徳的な実践力が育っている。 目標値:教職員、生徒の80%以上が肯定	A	＜道徳・学担＞ 教員同士が密に連携し、授業前の準備やチームによる毎時間の授業の運営、相互参観、授業後の振り返り等の充実にも今後も努めていく。 全教職員が、一層の指導の充実を目指して今後も研修を深めていく。	教職員アンケート⑧	80.0	20.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	98	98	0
					生徒アンケート⑨	72.0	24.0	4.0	0.0	0	96.0	◎			
											0.0				
	進路指導 ＜進路指導主事＞	将来の生き方や進路の適切な選択に向けて、機会をとらえて働きかけている。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜進路・学担＞ 毎月の教育相談や学級ネットの時間に、学級で進路やキャリア学習をしている。また、進路コーナーが充実しており、だれでも見られるようになっている。生徒の個に応じた進路指導を継続していく。	教職員アンケート④	40.0	60.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	97	94	11
					保護者アンケート③	26.9	73.1	0.0	0.0	0	100.0	◎			
					生徒アンケート⑤	44.0	48.0	0.0	4.0	4	92.0	◎			
	集団づくり ＜教職員＞	学級にはまとまりがあり、一人ひとりを支えあう雰囲気がつくられている。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜学担＞ 全教育活動を通して、互いを認め合い、高め合うことのできる雰囲気の醸成と人格形成に努める。	教職員アンケート⑤	40.0	60.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	96	11
					保護者アンケート④	26.9	73.1	0.0	0.0	0	100.0	◎			
					生徒アンケート⑥	100.0	0.0	0.0	0.0	0	100.0	◎			
生徒指導と安全管理	生徒指導の 充実 ＜生徒指導主事＞	気持ちのよいあいさつができています。 目標値:教職員、生徒の80%以上が肯定	A	＜生徒指導＞ あいさつの文化を一過性の取り組みで終わらず、継続的に育てていきたい。	教職員アンケート⑥	27.3	72.7	0.0	0.0	0	100.0	◎	96	93	9
					生徒アンケート⑦	64.0	28.0	8.0	0.0	0	92.0	◎			
											0.0				
		毎日朝食をとり、服装等身だしなみを整え、時間を守るなど基本的生活習慣が身に付いている。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜生徒指導・保健＞ 生徒の様子を観察し、些細な変化も見逃さず温かい声掛けを行う。 気になることがある際には、家庭と細かく連絡を取り合う。	教職員アンケート⑦	54.6	45.4	0.0	0.0	0	100.0	◎	92	88	2
					保護者アンケート⑤	38.5	38.5	23.0	0.0	0	77.0	○			
					生徒アンケート⑧	68.0	32.0	0.0	0.0	0	100.0	◎			
		定期的な教育相談やアンケートの実施などを通して、いじめ・不登校の早期発見と早期解消に努めている。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜生徒指導＞ 教育相談や学校生活アンケートを実施している様子等をホームページで発信する。 日頃より、教員間での情報交換を密に行い、不登校生徒には、全教職員が一丸となって対応する。	教職員アンケート⑨	80.0	20.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	98	92	20
					保護者アンケート⑥	23.1	73.1	3.8	0.0	0	96.2	◎			
											0.0				
		様々な機会を通じて生徒とかわかり、生徒理解に努めている。 目標値:教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜教職員＞ 現在のかかわりをさらに良好なものにできるよう努力を継続する。	教職員アンケート⑩	60.0	40.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	97	99	12
					保護者アンケート⑦	23.1	69.2	7.7	0.0	0	92.3	◎			
					生徒アンケート⑪	84.0	16.0	0.0	0.0	0	100.0	◎			
	学校のきまりや生活目標が共通理解され、生徒に対する指導が徹底されている。悪いことをした生徒を指導してくれる。 目標値:保護者、教職員の80%以上が肯定	A	＜生徒指導＞ 再度「学校生活に関する申し合わせ事項」の共通理解を図り、一貫した指導となるよう、指導した際には情報交換を行う。	教職員アンケート⑪	60.0	40.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	98	86	9	
				保護者アンケート⑨	15.4	80.8	3.8	0.0	0	96.2	◎				
										0.0					
	先生はすべての生徒に、平等に適切な指導をしている。親身に対応してくれる。 目標値:生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜教職員＞ 誰一人取り残すことのないように、さらに意識を高く指導を継続する。	生徒アンケート⑫	80.0	8.0	4.0	0.0	8	88.0	◎	86	88	14	
				保護者アンケート⑧	15.4	69.2	15.4	0.0	0	84.6	◎				
										0.0					

生徒指導と安全管理	生徒活動の活性化 ＜特別活動主任＞	様々な体験活動を通して、思いやりや奉仕の心が育っている。 目標値：教職員、保護者の80%以上が肯定	A	＜特活・学担＞ さまざまな体験活動の中で、生徒同士で協力したり、助け合いながら活動できている。また、清掃活動や委員会・係の仕事などに欲的に取り組めている。保護者からも100%肯定されているため、継続して体験活動を行っていきたい。	教職員アンケート⑪	45.5	54.5	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	97	7
					保護者アンケート⑩	19.2	80.8	0.0	0.0	0	100.0	◎			
											0.0				
		学校行事を通して、集団への所属感を深め、学校生活の充実につながるよう指導の工夫がなされている。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜特活・学担＞ 教職員が生徒をよく見て理解し、叱咤激励しているため生徒の自己肯定感や自己有用感を高めている。教職員、生徒、保護者からも100%肯定されているため、継続して様々な体験活動を行っていきたい。	教職員アンケート⑫	62.5	37.5	0.0	0.0	0	100.0	◎	97	89	8
					保護者アンケート⑪	19.2	80.8	0.0	0.0	0	100.0	◎			
					生徒アンケート⑫	64.0	28.0	0.0	0.0	8	92.0	◎			
		部活動は生徒のために適切に行われている。 目標値：保護者の80%以上が肯定	A	＜部活動＞ 教員間での連携を大切にするとともに、地域人材も効果的に活用し、生徒にとって充実した活動となるよう工夫する。 生徒数の減少傾向を見込み、適正な部活動数の設定や休日の部活動地域移行への実証事例等を推進していきたい。	教職員アンケート㉔	67.0	33.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	92	100	0
					保護者アンケート⑬	30.8	53.8	15.4	0.0	0	84.6	◎			
											0.0				
	学校安全の推進 ＜保健主事＞	保護者・地域と連携し、地域ぐるみの安全確保に努めている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	＜教頭・教職員＞ 朝の登校指導や見守り活動など、生徒のために今後もご尽力いただきたい。	生徒アンケート⑭	92.0	8.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	100	15
											0.0				
											0.0				
		生徒のけが、病気、事故等に適切に対処しているか。 目標値：教職員、生徒、保護者の80%以上が肯定	A	＜保健・教職員＞ 教職員で協力して適切な対応を行うことができている。今後も継続する。	教職員アンケート⑬	70.0	30.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	94	98	4
					生徒アンケート⑬	76.0	12.0	4.0	0.0	8	88.0	◎			
											0.0				
		校内安全点検を定期的 to 実施し、潜在危険の除去と教育環境整備に努めている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	＜教頭・環境整備＞ 伊予市の予算内での環境整備のため、迅速な対応ができない場合もあるが、今年度はある程度の整備が整った。PTA会計も活用しながら、今後も教育環境整備に努める。	教職員アンケート⑭	40.0	60.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	100	0
											0.0				
											0.0				
教職員の資質向上	教職員の資質向上 ＜教職員＞	きもちのよいあいさつができている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	＜教職員＞ 全教職員が意識して、きもちのよいあいさつができている。今後も教職員としての自覚をもち、さらに努力する。	教職員アンケート⑯	63.7	36.3	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	93	7
											0.0				
											0.0				
		来校者に対して、適切な対応を心がけている。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	＜教職員＞ 来校者に対する適切な対応ができている。今後も継続する。	教職員アンケート⑰	54.6	45.4	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	100	0
											0.0				
											0.0				
		健全な社会人として信頼にたる教職員となっている。見守ってくれる大人として信頼できる。 目標値：教職員、生徒の80%以上が肯定	A	＜教職員＞ 教育者としての自覚をもち、今後も信頼を失うことのないように努力する。	教職員アンケート⑮	45.5	54.5	0.0	0.0	0	100.0	◎	98	92	14
					生徒アンケート⑮	64.0	32.0	4.0	0.0	0	96.0	◎			
											0.0				
		働き方改革の趣旨を踏まえ、業務改善に取り組んでいる。 目標値：教職員の80%以上が肯定	A	＜教職員＞ 業務の中でも慣例で行っていることについては一度立ち止まり、必要な業務か、ICTで簡略化できないか、他の方法で簡略化・代替できないかを考えるようにし、他の教職員の意見も参考にしながら改善するようにしている。	教職員アンケート⑯	75.0	25.0	0.0	0.0	0	100.0	◎	100	100	
											0.0				
											0.0				
開かれた学校づくり	保護者・地域との連携 ＜管理職・教職員＞	学校の様子や、行事などについて家庭で話をしている。 目標値：生徒の80%以上が肯定	A	＜学担＞ 家庭での会話のきっかけとなるように、継続的に学級通信を発行し、その内容の充実にも努める。	生徒アンケート⑰	64.0	24.0	12.0	0.0	0.0	88.0	◎	88	91	3
											0.0				
											0.0				
		学校の様子や行事などが、学校だよりなどでよく知らされている。 目標値：保護者の80%以上が肯定	A	＜教務・教職員＞ 先生方が各所で生徒の様子を写真に撮り、校長先生が詳細なブログを日々作成してくれている。さらに、学級通信や道徳通信を通して、生徒の様子を発信しているため、無理のない範囲で継続していく。	保護者アンケート⑫	61.5	38.5	0.0	0.0	0.0	100.0	◎	100	100	4
											0.0				
											0.0				
		学校、PTA、地域はよく協力して活動している。 目標値：教職員、保護者の80%以上が肯定	A	＜教頭＞ PTA活動や学校運営協議会(コミスク)の活動など、あらゆる場面でご協力をいただき、教育活動が円滑に進んでいることに感謝し、今後も協力体制を継続する。	教職員アンケート㉔	54.6	45.4	0.0	0.0	0.0	100.0	◎	96	98	8
					保護者アンケート⑭	30.8	61.5	7.7	0.0	0.0	92.3	◎			
											0.0				